■特別徴収のスケジュールと仮徴収・本徴収について

普通徴収では納期が年8回に分かれています。特別徴収では年金の支給月に合わせ、年6回の納付となります。

4月・6月・8月の特別徴収を仮徴収といい、10月・12月・2月の特別徴収を本徴収といいます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
特別徴収	●(仮)	-	●(仮)	-	●(仮)	-	●(本)	-	●(本)	-	●(本)
普通徴収				◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

■特別徴収の開始(再開)時期

4月、6月、8月、10月の年金定期支払い時の年4回です。

4月、6月、8月から特別徴収の対象となる場合は、普通徴収から特別徴収へ切り替わる旨の通知が届きます。10月から特別徴収の対象となる場合は、7月に届く納税通知書にてご確認ください。

開始月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
4月から特別徴収の方	●(仮)	-	●(仮)	-	●(仮)	-	●(本)	-	●(本)	-	●(本)
6月から特別徴収の方	-	-	●(仮)	-	●(仮)	-	●(本)	-	●(本)	-	●(本)
8月から特別徴収の方	-	-	-	-	●(仮)	-	●(本)	-	●(本)	-	●(本)
10月から特別徴収の方	-	-	-	普通徴収 第1期	普通徴収 第2期	普通徴収 第3期	●(本)	-	●(本)	-	●(本)

※年度途中で特別徴収が中止になった後、再度条件を満たしたときは、翌年10月から特別徴収が再開されます。

■徴収税額について

徴収月	徴収税額
4月・6月・8月 (仮徴収)	・初年度は、前年度の保険税額をもとに算出した金額を年金から天引きします。 ・前年度から引き続き年金天引きで納める場合は、前年度の2月に天引きされた額と同額を年金から天引きします。
10月・12月・2月 (本徴収)	・新年度の税額確定後(毎年7月上旬に賦課決定)、そこから仮徴収分を差し引いた残りの額を年金から天引きします。

■所得金額の変更や資格喪失等により年度途中で税額が変わったとき

◎増額となったとき

特別徴収額は変わらず、増額分は普通徴収(納付書又は口座振替)にて納付していただきます。

◎減額となったとき

特別徴収が中止となります。また、還付金が発生した際は、ご指定の口座に後日お返しいたします。

■申告で社会保険料控除に使うとき

◎特別徴収

特別徴収された本人に社会保険料控除が適用されます。本人以外は社会保険料控除とすることはできません。

◎普通徴収

実際に国保税を負担した方(配偶者や家族が負担した場合はその方)に社会保険料控除が適用されます。